



クリスティアン・アルミンク
音楽監督就任！
《SECRETS》
～音楽の不思議～

ひろしま国際平和文化祭 連携イベント



花と緑と音楽の
おもてなし

広響名曲
コンサート

音楽の花束

春-秋-冬

イニシャルBの誘惑

「名曲」-それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。
2024年度はブルッフの協奏的的作品を軸にブルックナー(生誕200周年)、ベートーヴェン、ブラームスといった、
頭文字にBを冠する作曲家たちの名曲を、豪華ソリストたちの饗宴とともに楽しんでください。



©遠藤アスミ



©ヒダキトモコ

©Taira Tairadate



©山吹康男

©Seichi Saito

《春》2024 5.18 [土]
15:00 | 14:00
開演 | 開場

指揮 沼尻竜典
クラリネット 三界達義
ヴァイオリン 安保恵麻
ブルッフ
クラリネットとヴァイオリンのための
二重協奏曲ホ短調作品88
ブルックナー
交響曲第7番ホ長調WAB 107
(ノーヴァク版)

《秋》2024 11.3 [日・祝]
15:00 | 14:00
開演 | 開場

指揮 徳永二男
ヴァイオリン 前田妃奈*
ハープ 早川りさこ*
ナビゲーター 假屋崎省吾
ベートーヴェン
「コリオラン」序曲作品62
ブルッフ
スコットランド幻想曲作品46*
ベートーヴェン
交響曲第5番ハ短調作品67「運命」

《冬》2025 1.25 [土]
15:00 | 14:00
開演 | 開場

指揮 ジョン・アクセルロッド
チェロ 佐藤晴真*
ヴァイオリン 小林美樹
ブルッフ「ホル・ニドライ」作品47*
ブラームス
ヴァイオリンとチェロのための
二重協奏曲イ短調作品102
ブラームス
交響曲第4番ホ短調作品98

《会場》広島国際会議場フェニックスホール 広島市中区中島町1-5 (平和記念公園内)

料金(1回分) s¥4,300(ペア¥6,500) A¥3,300 B¥2,300 (学生¥1,500)

※税込・全席指定 ※学生は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取り扱い)

あなただけのマイシート コンサート会員のご案内

s¥9,100 A¥7,000

名曲コンサートへは、1回券より断然お得な会員がおすすめです！
シリーズ全3公演を同じお席でご鑑賞いただけます。お申し込みは広響事務局までお電話ください。

受付
5/17
まで

◎チケット発売日

[春]— 2024年2月19日(月) / [秋]— 2024年5月20日(月) / [冬]— 2024年11月5日(火)

◎チケット取扱い

JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、広響事務局、チケットぴあ、ローソンチケット

※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。公演の最新情報は広響ホームページにてご確認ください。

主催：広島市・公益財団法人広島市文化財団
公益社団法人広島交響楽協会・中国新聞社

春公演特別協賛：Energie 中国電力

協賛：株式会社花満・広島県医師会・広島市医師会

お問い合わせ

広響事務局 Tel.082-532-3080

[受付時間/平日 9:00~17:20]

http://hirokyo.or.jp 広響公式ホームページ▶



〈春〉指揮：沼尻竜典 Ryusuke Numajiri, Conductor

びわ湖ホール芸術監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督。2022年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以来、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサートの双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演、びわ湖ホールでは、2017年より4年間かけてミチャエル・ハンペの新演出による《ニーベルングの指環》を上演、空前の成功を収めた。14年にはオペラ《竹取物語》を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受章。

〈秋〉指揮：徳永二男 Tsugio Tokunaga, Conductor

人気、実力ともに日本を代表する音楽家。2024年4月から広島交響楽団ミュージック・アドバイザーに就任する。1966年、当時日本楽壇史上最年少のコンサートマスターとして東京交響楽団に入団。68年ベルリンへ留学。76年NHK交響楽団のコンサートマスターに就任し、長クソロ・コンサートマスターを務めた。N響在籍時代よりヨーロッパ、アメリカに招かれソロ、室内楽公演に多数出演。94年にN響を退団しソロ、室内楽に専念。92年より鎌倉芸術館ソリストを主宰し、96年からは宮崎国際音楽祭の総合プロデューサーを経て2011年からは音楽監督を務める。ソリストとしてもMontreal響やイギリス室内管、ウィーン室内管など、国内外の主要オーケストラからたびたび招かれている。また、08年からは毎年東京でリサイタル・シリーズを行う。16年度文化庁長官表彰を受ける。20年、仲道郁代氏とベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会が好評を博す。楽壇生活55周年を迎えた21年には、多数の弟子や演奏家が世界中から集い記念演奏会を行った。CDは、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲集など多数リリース。最新盤は「徳永二男プレイズ R.シュトラウス ヴァイオリン・ソナタ」。

〈冬〉指揮：ジョン・アクセルロッド John Axelrod, Conductor

ルツェルン交響楽団・歌劇場の音楽監督兼首席指揮者、フランス国立ロワール管弦楽団音楽監督、王立セビリア交響楽団音楽監督、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団首席客演指揮者、京都市交響楽団首席客演指揮者を歴任。また、2009年から2011年にはウィーン・コンツェルトハウスでのORFウィーン放送交響楽団との映画音楽ガラ・コンサート「ハリウッド・イン・ウィーン」の音楽監督も務めた。2022/23年シーズンよりブカレスト交響楽団首席指揮者。これまでにバイエルン放送響、ベルリン放送響、ハンブルク北ドイツ放送響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バリ管弦楽団、ロンドン・フィル、フィルハーモニア管、ローマ・サンタチェチーリア管、トリノRAI国立響、ロイヤル・ストックホルム管、オスロ・フィル、スウェーデン放送響、ザルツブルク・モーツァルテウム管、さらにワシントン・ナショナル響、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、シカゴ交響楽団、上海交響楽団等、これまでに150以上の世界各地のオーケストラを指揮、度々再招聘されている。1988年ハーヴァード大学を卒業、指揮をレナード・バーンスタインとイリヤ・ムーシニンに学んだ。

クラリネット：三界達義 Tatsuyoshi Mikai, Clarinet

東京都出身。クラリネットを三界秀実、野田祐介、山本正治、十亀正司、伊藤圭の各氏に師事。東京藝術大学音楽学部器楽科を経て同大学院修士課程を修了。大学学部卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。同声会新人演奏会に出演。大学院修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。第90回日本音楽コンクール クラリネット部門第3位。第6回ジャック・ランソロ国際コンクール セミファイナリスト。サルヴァトーレ・シャリーノのクラリネット協奏曲"夜警よ、お前は何を知る?"を広報ディスカバリー公演にて日本初演。これまでに藝大フィルハーモニア管弦楽団、広島交響楽団と共演。2018年度瀬木芸術財団海外研修生。現在、エリザベト音楽大学非常勤講師、広島文化学園大学非常勤講師、Igel Quintet、The Narmen Clarinet Ensembleメンバー、広島交響楽団首席クラリネット奏者。

ヴァイオリン：前田妃奈 Hina Maeda, Violin

2022年第16回ヘンリック・ヴィエニアフスキ国際ヴァイオリンコンクールで優勝し、国際的に注目を集める新進気鋭のヴァイオリニスト。卓越した技術と類い稀な表現力で高く評価されている。2013年全国日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第1位、2019年日本音楽コンクール第2位及び岩谷賞（聴衆賞）、2020年東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞など輝かしい受賞歴を誇る。ほかにクロスター・シェンタール国際ヴァイオリンコンクール第1位、クロンベルクアカデミースカラシップ賞など受賞多数。11歳で関西フィルハーモニー管弦楽団と共演したのをはじめ、国内の主要オーケストラと共演多数。リサイタル、室内楽やアウトリーチにも積極的に取り組んでいる。22年から23年には20カ国、60地域での演奏会、東京、大阪でのリサイタル、オーケストラと共演した。令和4年度(2022年度)大阪文化祭奨励賞受賞。第25回(2023年度)ホテルオークラ音楽賞受賞。公益財団法人江副記念リクルート財団第48回奨学生。現在、東京音楽大学に特別特待奨学生として在学中。小栗まち絵、原田幸一郎、神尾真由子の各氏に師事。

チェロ：佐藤晴真 Haruma Sato, Violoncello

実力・人気を兼ね備えた若い世代を代表するチェリスト。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位など多数の受賞歴を誇る。すでに国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。NHKテレビ、NHK-FMにもたびたび出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年11月、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses〜ブرائمス作品集〜』をリリース。23年4月には、サード・アルバム『歌の翼に〜メンデルスゾーン作品集』をリリースし話題を集めている。ベルリン芸術大学在学、イェンス＝ペーター・マインツ氏に師事。20年、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰に選出。22年、第32 回日本製鉄音楽賞受賞。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。

ヴァイオラ：安保恵麻 Ema Ambo, Viola

4歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部を卒業。高校入学と同時にヴァイオラへ転向。卒業時に同声会賞を受賞。'99年、PMFに合格。PMFでは、首席奏者も務める。その他、宮崎国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭、オホーツク音楽祭in紋別、イタリア・チェルボ国際音楽祭などの音楽祭にも参加。'05年4月に広島交響楽団首席ヴァイオラ奏者に就任。横浜シンフォニエッタのシーズンメンバー。これまで、ヴァイオリンを鷲見康郎、津田順子の各氏に、ヴァイオラを菅沼準二、川崎和恵、小野富士、市坪俊彦、ジャン・シュレムの各氏に、室内楽を北本秀樹、岡山潔、荻田雅治、田中千香士、小林道夫、生沼晴嗣の各氏に師事。

ナビゲーター：假屋崎省吾 Shogo Kariyazaki

元祖華道家。東京・銀座、假屋崎省吾 花教室 主宰。美輪明宏氏より「美をつまぎだす手を持つ人」と評され、世界各地で「華道」を広める活動に精励する。クリントン大統領をはじめ、各国首脳来日の会場装飾、天皇御在位10年記念式典の舞台装飾、明仁天皇御退位・徳仁天皇御即位の番組スタジオ装飾、G20軽井沢・歓迎モニュメント制作など多数を手掛ける。女子美術大学・客員教授、フランス観光親善大使、オランダチューリップ大使、大分県竹田市「くじゅう花公園」名誉理事などを務め、着物、ジュエリー、ガラス器、棺、骨壺などのデザイン・プロデュースをおこない、「世界で最も多いコサージュ展示」の世界ギネス記録にも認定される。ライフワークでもある花と建物のコラボ企画“歴史的建築物に挑む”シリーズを国内外で開催。海外でも目覚ましい活動を展開している。その他、花を通じた情操教育「花育」活動や「少子化問題」「伝統工芸品の振興促進」などの地域活性を促す社会活動も積極的に取り組み、華道歴40周年を迎えテレビ・ラジオ・雑誌・新聞・WEBなど幅広い分野で活躍の場を広げている。

ヴァイオリン：小林美樹 Miki Kobayashi, Violin

16歳でレオポルド・モーツァルト国際ヴァイオリンコンクールにてギドン・クレーメル氏より審査委員特別賞を受賞。2011年、5年に一度ポーランドで行われ、巨匠オISTRAフらを輩出した第14回ヴィエニアフスキ国際ヴァイオリンコンクールで第2位を受賞して以来、その美音と大きな演奏で常に注目を集めてきた。これまでに、NHK交響楽団をはじめ多くの国内主要オーケストラと共演する他、マキシム・ヴェンゲーロフ氏の指揮や彼から推薦を受けたポーランド主要オーケストラとも共演している。メディア出演では「題名のない音楽会」「NHK BSプレミアムクラシックコンサート」などT Vにもたびたび出演し多くのファンを獲得している。2014年第24回出光音楽賞を受賞するとともにこれまでに「レコード芸術」誌の特選盤・推薦盤を含む4枚のCDをリリースしている。2016年国内4都市でウィーンフィルコンサートマスター、シュトイデ氏らと共演し注目を浴びた。徳永二男氏・バヴェル・ヴェルニコフ氏に師事。現在東京音大非常勤講師。